

課目名	文化論Ⅰ						
課目名(英)	Theory of Barber and Beauty culture						
課目単位数	1単位		時間数	30時間		担当者	遠藤 広美
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	国家試験に対する知識を深めるとともに、西洋ファッション文化史を学ぶ。人の歴史の最古から、美容がかかわってきたことを学ぶことは、今を知るためにとても重要である。歴史の中で創り上げられてきた「美しさ」があり、現代のものと融合することで新しいスタイルを生み出すことが出来る。文化論の中にはデザインを発想する為のヒントや、創造の幅を広げるエッセンスが多く存在する。文化を知り学び、知識を得ることにより、お客様が求める美しさを的確に理解し、幅広いスタイル提供が出来る、即戦力に繋がる社会人を目指す。						
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					西洋ファッション文化史における文化の流れを説明できる。	
	○					西洋ファッション文化史における、それぞれの時代の髪型・メイクを説明できる。	
	○					理美容業界の歴史について説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	日本理美容教育センター 文化論教科書						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 総論				教科書を使い、予習復習を行う。	
	2	第4章 ファッション文化史(西洋編)・・・古代エジプト				教科書を使い、予習復習を行う。	
	3	第4章 ファッション文化史(西洋編)・・・古代ギリシャ・ローマ				教科書を使い、予習復習を行う。	
	4	第4章 ファッション文化史(西洋編)・・・古代ゲルマン				教科書を使い、予習復習を行う。	
	5	第4章 ファッション文化史(西洋編)・・・中世ヨーロッパ				教科書を使い、予習復習を行う。	
	6	第4章 ファッション文化史(西洋編)・・・近世Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				教科書を使い、予習復習を行う。	
	7	第4章 ファッション文化史(西洋編)・・・近代Ⅰ・Ⅱ・現代Ⅰ～Ⅶ				教科書を使い、予習復習を行う。	
	8	まとめ①(第4章 復習、小テスト①)				教科書、小テストを使い復習をする事。	
	9	第5章 礼装の種類・・・和装の礼装				教科書を使い、予習復習を行う。	
	10	第5章 礼装の種類・・・洋装の礼装				教科書を使い、予習復習を行う。	
	11	まとめ②(第5章 復習、小テスト②)				教科書、小テストを使い復習をする事。	
	12	まとめ③(第1章 総論)				まとめプリントを使い、予習・復習を行う。	
	13	まとめ④(第4章、第5章 ファッション文化史)				まとめプリントを使い、予習・復習を行う。	
	14	まとめ⑤(前期末試験対策)				対策プリントを使い、予習・復習を行う。	
	15	前期末試験、解答・解説				教科書を使い、予習を行う。	
評価方法	(1)授業の中で小テストを4回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 態度・意欲は、出席・提出物・授業中の居眠りの回数などで評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○					80%
	小テスト	○					10%
	授業態度				○		10%
履修上の注意	授業開始前に準備を整えておく。						

課目名	美容技術理論						
課目名(英)	Beauty Technical theory						
課目単位数	2単位		時間数	60時間		担当者	吉田由花子・遠藤広美
実施年度	2019年度		実施時期	通年		実務家教員担当科目	○
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	美容師資格を取得し一人前の技術者になるため美容の基礎的な理論と技術を学ぶ事を目的とする。技術には裏付けとなる理論が必ずある。「なぜそうなのか」を明確に解き明かし、より良い美容の技術と心をお客様に提供できる美容師を目指す。						
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					美容用具について使用方法の説明が出来る。	
	○					シャンプーイングの目的、概要についての説明ができる。	
	○					カットtingの基本手技を理解して説明ができる。	
	○					パーマメントウェーブ、ヘアセッティングの概論が説明できる。	
	○					ヘアカラーリング概論、染毛のメカニズムを理解して説明ができる。	
テキスト・教材 参考図書	公益社団法人 日本理容美容教育センター 出版 美容技術理論1						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	序章 美容技術理論を学ぶにあたって				教科書に目を通し予習をしておく事。	
	2	1章 美容用具・・・コーム、ブラシ、シザーズ				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	3	1章 美容用具・・・、レザー、ピン類ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ドライヤー、スチーマー				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	4	2章 シャンプーイング・・・シャンプーイング総論、				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	5	2章 シャンプーイング・・・サイドシャンプー、バックシャンプー				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	6	2章 シャンプーイング・・・リンス、コンディショナー、トリートメント				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	7	まとめ①(1章、2章の復習・小テスト)				プリントを使い、予習・復習をしておく事。	
	8	3章 ヘアデザイン・・・錯覚現象について				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	9	3章 ヘアデザイン・・・デザインの要素				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	10	4章 ヘアカットting・・・ヘアカットtingとは				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	11	4章 ヘアカットting・・・ヘアカットtingの基礎理論				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	12	4章 ヘアカットting・・・レザーによるカット				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	13	まとめ②(3章、4章の復習・小テスト)				プリントを使い、予習・復習をしておく事。	
	14	まとめ③(序章～4章までのまとめ)				プリントを使い、予習・復習をしておく事。	
	15	前期試験解答・解説				教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	16	5章 パーマメントウェーブing・・・パーマメントウェーブの歴史と現在				教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	17	5章 パーマメントウェーブing・・・パーマ剤の分類、注意事項				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	18	5章 パーマメントウェーブing・・・ワインディングのバリエーション				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	19	6章 ヘアセッティング・・・ヘアセッティングとは				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	20	6章 ヘアセッティング・・・ヘアパーティング、カーリング				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	21	6章 ヘアセッティング・・・ローラーカーリング				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	22	6章 ヘアセッティング・・・アイロンセッティング				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	23	6章 ヘアセッティング・・・ウィッグとヘアピース				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	24	まとめ①(5章、6章の復習・小テスト)				プリントを使い、予習・復習をしておく事。	
	25	7章 ヘアカラーリング・・・ヘアカーラーリング概論				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	26	7章 ヘアカラーリング・・・ヘアカーラーリングの種類、特徴				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	27	7章 ヘアカラーリング・・・染毛剤、染毛料、注意事項				プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。	
	28	まとめ②(7章の復習・小テスト)				プリントを使い、予習・復習をしておく事。	
	29	まとめ③(5章～7章までのまとめ)				プリントを使い、予習・復習をしておく事。	
30	後期末試験解答・解説				教科書2の予習をしておく事。		
評価方法	(1)授業の中で小テストを4回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				80%
	小テスト	○					10%
	宿題・レポート		○		○		10%
履修上の注意	授業開始前に準備を整えておく。						

課目名	運営管理										
課目名(英)											
課目単位数	1単位		時間数		30時間		担当者		山口隆司		
実施年度	2019		実施時期		通年		実務家教員 担当課目				
対象学科・学年	美容科 1年										
授業概要	運営管理は、よい美容サービスにより顧客満足を実現することで、店を守り発展させていく取り組みをいう。その取り組みの大半は経営者によって行われる。多くの人は従業員として雇用されることでキャリアをスタートさせるのはあるが、経営者の考えていること、目指していることを知っておくことは、従業員として活躍するためにも、将来自ら経営者として成長していくためには重要なことである。この科目では、このような観点から、「①経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割」「②雇用する責任や働くうえで求められること」「③顧客を満足させるサービスとは何か、それをどう実現するか」の3点を中心に学びます。										
授業形式	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					経営に必要な概念や専門用語について説明することができる					
		○				経営に必要な専門用語について正しく活用ができる					
テキスト・教材 参考図書	公益財団法人 日本理容美容教育センター 運営管理										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは①					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
	2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは②					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
	3	第1編 経営者の視点 第2章 美容業の経営について①					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
	4	第1編 経営者の視点 第2章 美容業の経営について②					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
	5	第1編 経営者の視点 第3章 資金の管理① 第1編 経営者の視点 第3章 資金の管理②					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
	6	第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源①					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
	7	第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源②					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
	8	第2編 人という資源 従業員としての視点第2章 健康・安全な職場環境の実現①					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
	9	第2編 人という資源 従業員としての視点第2章 健康・安全な職場環境の実現②					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
	10	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から① 第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から②					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
	11	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン①					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
	12	第3編 顧客のために 第2章 サービス・デザイン②					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
	13	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング① 第3編 顧客のために 第2章 マーケティング②					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
	14	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割①					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
	15	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割②					教科書の概要範囲を事前の読んでもくこと 授業中に実施する小テストについて復習すること				
評価方法	(！)授業の中で小テストを毎回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	
	定期試験	◎		○						90%	
	小テスト	○								10%	
履修上の注意	教科書の内容や専門用語は、将来、実務に従事する際に必ず要求されるものです。正確に理解し、正しく活用できるように学習を進めてください。										

課目名	美容実習 I						
課目名(英)	Beauty Technique Training						
単位数	14単位		時間数	420時間		担当者	山口・江藤・武田・糸山・渡邊
実施年度	2019年度		実施時期	通年		実務家教員 担当科目	美容室において美容師として 勤務
対象学科・学年	美容科 1年次						
授業概要	国家試験合格に向けて、第二課題であるワインディングを中心に基礎技術を身に付ける。 また、衛生に関する知識、技術も同時に身に付けると共に、将来の美容業界で活躍できる基本的知識と技能も同時に習得する事も目的とする。						
授業形式	講義:		演習:	実習:	○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			美容技術の課題を各課題別に指定された時間で表現できる。	
		○				頭の丸みを理解し、能率的に作業を行うことができる。	
			○			ワインディング技術課題(オールパーパス・スタイル巻き)をそれぞれ全頭巻く事ができる。	
		○		○		衛生面に対しても意識を持ち作業を行うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	美容実習①②(日本理容美容教育センター)改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1～6	教材配布。ワインディングの教材の説明、名称、用途からの説明。					
	7～11	TONI&GUYカット ワンレングスカット					テキストを確認し、手順の見直しを行う。
	12～15	TONI&GUYカット グラデーションカット					テキストを確認し、手順の見直しを行う。
	16～27	TONI&GUYカット レイヤーカット					テキストを確認し、手順の見直しを行う。
	28～75	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き 30分巻き					それぞれの課題に対して、ウィッグを持ち帰り自宅で反復練習を行う。
	76～105	実務実習 掃除等のサロンワーク					1日の行動を振り返り、レポートを作成する。
	106～109	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き 30分巻き					各々の課題に対して、ウィッグを持ち帰り自宅で反復練習を行う。
	110～167	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き 20分巻き					各々の課題に対して、ウィッグを持ち帰り自宅で反復練習を行う。
	168～210	ワインディング オールパーパス 20分巻き					各々の課題に対して、ウィッグを持ち帰り自宅で反復練習を行う。
評価方法	定期試験(実技)、レポート、自主練習(復習)課題、学内でのコンテストの実績を下記割合で評価する。 自主練習課題については、事前に指示を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○	○	○		80%
	レポート・宿題提出				○		10%
	学内コンテスト実績		○	○			10%
履修上の注意	実技試験にて評価基準に達成していない場合、補講実施。						

課目名		ヘアテクニク(ヘアカット)									
課目名(英)		Hair Technique (Hair Cut)									
課目単位数		1単位		時間数		60時間		担当者		渡邊正明 TAYA講師	
実施年度		2019年度		実施時期		通年		実務家教員 担当科目		○	
対象学科・学年		美容科 1年									
授業概要		TONI&GUYベーシックにおいて全てのカット技術の基礎となるワンレングス・グラデーション・レイヤーを理解習得し TAYAカットで更にその理解と応用を深める。									
授業形式		講義:		演習:		実習: ○		実技: ○		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)		言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
			○				カット技術に関する用語や姿勢を理解しTONI&GUY筆記試験において20問中15問以上の正解を得る事ができる。				
				○			TONI&GUYベーシック2パターンを5段階評価3以上を取得しベーシック検定(レイヤー)での合格をする事ができる。				
				○			TAYAカットのベーシックを理解しテーマ別のカットを表現する事ができる。				
			○				頭の形を理解し形として仕上げる事ができる。				
テキスト・教材 参考図書											
授業計画		回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
		1～3	ワンレングス ウィッグNO.3、NO.4を用いてワンレングスタイム違い及びパネル取り					前回までの復習			
		4～6	ワンレングス ウィッグNO.4～NO.7を用いてワンレングスタイム違い及びパネル取り、NO.8にてテスト					前回までの復習			
		7～8	グラデーション ウィッグNO.2、NO.3を用いてグラデーション違い及びパネル取り					前回までの復習			
		9～11	グラデーション ウィッグNO.4～NO.7を用いてグラデーションタイム違い及びパネル取り、NO.8にてテスト					前回までの復習			
		12～14	レイヤー ウィッグNO.1、NO.2を用いてレイヤーカット					テキストにてレイヤーの項を事前学習			
		15～17	レイヤー ウィッグNO.4を用いてレイヤータイム違い及びパネル取り、筆記試験					テキストを学習			
		18～20	ベーシック検定 ウィッグNO.8にてレイヤーカット					レイヤーカットの手順やチェック項目の再確認			
		21～23	TAYAカット(レイヤースタイル・セიმレイヤースタイル)					テキストでの手順確認(復習)			
		24～26	TAYAカット(セიმレイヤー・グラデーションボブスタイル)					テキストでの手順確認(復習)			
		27～30	TAYAカット(グラデーションスタイル・アレンジデザイン)					テキストでの手順確認(復習)			
		評価方法		ワンレングス・グラデーション・レイヤーを本校の認定講師による試験(追・再試験) TONI&GUY JAPAN講師によるレイヤーディプロマ認定試験 TAYA講師によるデザイン認定試験 事前に自主練習(復習)を課題として指示を行い、評価の1つとする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
	言語情報			知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
実技試験(TONI&GUY)					○			40%			
実技試験(TAYA)					○			40%			
宿題・レポート						○		20%			
履修上の注意		授業開始前に準備を整えておく。									

科目名	ヘアテクニク（シャンプー＆ブロー）						
科目名(英)	shampoo / blow-drying						
単位数	4単位		時間数	20時間		担当者	江藤・糸山・山口・武田
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	美容科/1年生						
授業概要	美容の業務の基本であるシャンプーと、応用技術であるブロードライの基礎を学ぶ。 道具の使い方・手の動かし方、スタンスを身に付けサロンレベルの技術の修得をする。						
授業形式	講義：		演習：		実習：	実技： ○	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○	○			基本の知識/道具説明、シャンプーの手順を覚えて、実際にシャンプーができる。	
		○				手順に沿ったサイドシャンプーの技術を説明することができる。	
			○			ウィッグに対してのストレートブローが出来る。	
			○			ロールブラシでのブローが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	理論①教科書・シャンプー道具一式・ブロー道具一式						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	シャンプーの基礎を知ろう/理論①の教科書にて道具説明 シャンプー台の使い方、片付け方、シャンプー台の使い方。					理論①の教科書にて予習・復習
	2	ブレーンリンシング(声掛け、温度確認、手とシャワーの動き)/ブロー:ストレート ブロー(デンマン)					手順の確認・復習
	3	ブレーンリンシング(声掛け、温度確認、手とシャワーの動き) /ブロー:ストレート ブロー(デンマン)					手順の確認・復習
	4	ファーストシャンプー(塗布量、声掛け、手の動き)/ブロー:ストレートブロー(デン マン)					手順の確認・復習
	5	ファーストシャンプー(塗布量、声掛け、手の動き)/ブロー:ストレートブロー(デン マン)					手順の確認・復習
	6	ファーストシャンプー(塗布量、声掛け、手の動き)/ブロー:ストレートブロー(デン マン)					手順の確認・復習
	7	ファーストシャンプー(塗布量、声掛け、手の動き)/ ブロー:内巻(ロールブラシ)					手順の確認・復習
	8	セカンドシャンプー(声掛け、手の動き) /ブロー:内巻(ロールブラシ)					手順の確認・復習
	9	フルシャンプー(塗布量、声掛け、手の動き) テスト/ブロー(ウィッグブロー)テスト					手順の確認・復習
	10	フルシャンプー(塗布量、声掛け、手の動き) テスト/ブロー(ウィッグブロー)テスト					手順の確認・復習
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	実技試験(シャンプー・ウィッグブロー)による総合評価とする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験(シャンプー)			○			50%
	実技試験(ウィッグブロー)			○			50%
履修上の注意	実技試験までに、出席が5回に満たない場合は、実技試験の受験資格を与えない。						

課目名	ビューティスキル(ネイル)						
課目名(英)							
単位数	6単位		時間数	180時間のうち60時間		担当者	千代島陽子 弓場祐子
実施年度	2019年度		実施時期	通年		実務家教員 担当課目	○
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	JNEC 日本ネイリスト技能検定3級取得までのネイルケアの技術習得、及びネイルの基礎理論、知識を習得する。 (オフィシャル会場受験2019年10月27日)						
授業形式	講義:	△	演習:	△	実習:	○	実技: ○ ※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				JNAテクニカルベーシックに沿った爪の構造、名称を覚え、ネイルの歴史、爪の病気、消毒法について学び、説明することが出来る。	
	○	○	○			用具、用材の名称と、使用目的衛生的なテーブルセッティングを覚え、実践することが出来る。	
		○	○			爪の名称、構造を理解し、正しいエメリーボードの使い方によるファイリング技術で爪の形を整えることが出来る。	
		○	○			爪の構造を理解した上で、安全なプッシャー&ニッパーハンドリング技術でクリーンナップすることが出来る。	
			○			赤のポリッシュをキューティクルの形に沿って美しくライン取り、表面をムラなく仕上げる事が出来る。	
テキスト・教材 参考図書	JNAテクニカルベーシック						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~2	★前期初日 シラバスの提示、説明、教材配布、テーブルセッティング、ラベル、名前貼付、ファイルの面取り、スティック削り(千代島)(弓場)				スティック削りが時間内に終わらない場合は宿題	
	3~4	講義(ネイルの歴史、爪の構造、爪の病気、消毒法)確認小テスト(千代島)(弓場)					
	5~6	ファイリング、キューティクルクリーンのデモンストレーション、実践(千代島)(弓場)					
	7~8	カラーリング、ペイントアートのデモンストレーション、実践(千代島)(弓場)					
	9~10	本番の流れを通しでデモンストレーション、項目練習(千代島)(弓場)					
	11~14	相モデルによる実技レッスン(千代島)(弓場)					
	15~18	前期末テスト(実技、筆記)※実技テストは前半組、後半組に分かれて2回実施(千代島)(弓場)					
	19~26	★後期初日 相モデルによる実技レッスン(千代島)(弓場)					
	27~30	後期末テスト(実技、筆記)※実技テストは2回に分けて実施(千代島)(弓場)					
評価方法	(1)授業の中で筆記小テストを実施する(2)JNAオフィシャル検定受験、可否を意欲として評価する。(3)実技テストを実施する。以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・C(70点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト			◎	◎		70%
	筆記小テスト	◎	◎				20%
	JNAオフィシャル検定試験 (実技、筆記)	◎		◎	◎		10%
履修上の注意							

課目名	ビューティスキル(接遇)									
課目名(英)	Beauty skill(manner)									
単位数	6単位			時間数	20時間		担当者	高田純子		
実施年度	2019年度			実施時期	前期		実務家教員 担当課目			
対象学科・学年	美容科 1年									
授業概要	姿勢・動作などの「形」だけではなく、心を伝えるマナーとして、自分に「なぜ、この様にした方がよいのか？」を問い答えを出しながら実践ができるように指導する。人(相手)を大切にするという思いやりの心を常に根底に持ち続けられるよう、マナー一つ一つの内容を伝えながら、実践を中心に身に付けてゆく。ビューティーコーディネーター検定3級を取得する。									
授業形式	講義：△			演習：		実習：○		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○					接遇とは何かを説明することができる。				
		○	○	○		社会人としての基本的な振る舞いができる。				
		○	○	○		ホスピタリティ(常に相手に思いやりの心)を持ち接することができる。				
		○	○	○		授業の中で学び実践したことが無意識に行動できる。				
	○	○				ビューティーコーディネーター検定3級を取得することができる。				
テキスト・教材 参考図書	ビューティーコーディネーター検定3級認定テキスト JBCA									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	サロンにおけるビジネスキャリア-接遇を通しての目標設定・発表テキストP22まで					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	2	ホスピタリティを発揮するビジネスコミュニケーション、テキストP28まで・交流分析理論、性格分析					ホスピタリティとは何かを事前に調べておくこと			
	3	サロン内のコミュニケーション-テキストP30、交流分析理論・やり取り分析					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	4	サロン内のコミュニケーション-交流分析理論・ゲーム分析					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	5	就業中の基本マナー-第一印象・姿勢、お辞儀、物の受け渡し、実践					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	6	就業中の基本マナー-テキストP38まで、報・連・相、会議マナー					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	7	接客の基本-テキストP44まで、第一印象構成要素(視覚)					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	8	敬語-敬語理論・小テスト、解説					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	9	電話対応の基本-テキストP50まで、実践					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	10	名刺交換-テキストP52、総まとめテスト					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)実践をする (3)授業態度は出席・提出物・授業中の居眠りの回数などで評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	授業態度	◎	○		◎		30%			
	小テスト	◎	◎				30%			
	実践	○		○	◎		40%			
履修上の注意	出席が5分の4に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。									



課目名	接遇(ビューティー・コーディネート)											
課目名(英)												
課目単位数	6単位			時間数		180時間中10時間		担当者		渡邊 正明		
実施年度	2019年度			実施時期		前期		実務家教員 担当科目		○		
対象学科・学年	美容科1年											
授業概要	今後のサロン運営の中心を担うことであろうビューティー・コーディネーターについての認識および知識を深めビューティー・コーディネーターの考えを身につけサロンスタッフの基礎的理念を身につける。											
授業形式	講義: ○		演習: △		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○					ビューティー・コーディネーターの本質を理解し、説明することができる。						
		○				受付や施術中においてその場での適した接客技術を選択することができる。						
テキスト・教材 参考図書	・パワーポイント ・配布プリント											
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示				
	1	ビューティ・コーディネーターについて										
	2	第Ⅰ部 ホスピタリティとビジネススキル(小テスト実施)						ホスピタリティについて調べ考える				
	3	第Ⅱ部 ビューティ・コーディネーターの仕事(小テスト実施)						サロンの受付の仕事について考える				
	4	第Ⅲ部 ビューティ・コーディネーター美容知識(小テスト実施)						配布プリントの復習				
	5	ビューティ・コーディネーター検定過去問題						配布プリントの復習				
	6											
	7											
	8											
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	◎		○								50%
	小テスト	◎		○								50%
履修上の注意	出席が4回に満たない場合は、単位認定を行わない。ただし補習完了である場合その限りではない。											

課目名	デザイン(デッサン)							
課目名(英)								
単位数	2単位		時間数		60時間のうち16時間		担当者	仲真市
実施年度	2019年度		実施時期		前期		実務家教員 担当課目	○
対象学科・学年	美容科1年							
授業概要	線の基本的要素から始まり、明暗・陰影の現象を再認識することで、形とボリュームの捉え方を学び、また、色彩学の基礎を理解させることで美容業のカラー、メイクアップとの関連付けができ、より深い知識が備わる。デッサンを通して美を追求する力と感性を育む。それらは就職しその後の成長時に大きく寄与する。鉛筆を用いて線描＞優美な線の表現を身につける、濃淡による陰影表現＞眼で得る情報を分析し再構築して画面に表現する。視る力は感性を通して手技の身体能力たる描写力に直結する、逆に描写力養成は感性を育む。感性は手仕事、表現に必須である。絵具と筆を用いて色彩効果を学習し、人物が備える色彩を混色で的確に表出する。色彩が量感、空気感をも表現することを各々感得することを目論む。ちょっとした違いに気付くことが大切、ちょっとした差が「凡庸」と「非凡」の大差である。							
授業形式	講義：		演習：		実習：○	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
			○			形体の構造、陰影、立体感を表現できる		
			○			角度と奥行きの把握、空間の意識ができる		
			○			顔と頭部の比率、骨格による陰影を表現できる		
			○			画材によるグレイスケールの表現で色彩の明度感覚を描写できる		
テキスト・教材 参考図書	必要に応じてA4印刷物、A4画用紙を配付。デッサン道具一式。							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	線描、かたちのとらえかた					各回で演習する配付物、制作する作品を丁寧に、毎回の授業の期日までに仕上げる。	
	2	円と球体						
	3	人物モデルデッサン						
	4	人物モデルデッサン						
	5	ヘアモデルイラストレーション						
	6	ヘアモデルイラストレーション						
	7	ヘアモデルイラストレーション						
	8	人物デッサン						
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
評価方法	(1)各回で演習する配付物、制作する作品を丁寧に仕上げる。(2)提出日時に提出する。(3)態度・意欲に関しては、作品の完成度・観察力・技量・集中力・思考力によって評価する。 下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	作品、配付物			◎	○		100%	
履修上の注意	提出物(毎回×切)+無遅刻無欠席							

課目名	デザイン(カラーコーディネート)										
課目名(英)	Design(Color Cordinate)										
単位数	2単位			時間数	60時間のうち30時間		担当者	藤末 淑美			
実施年度	2019年度			実施時期	前期		実務家教員 担当課目	○			
対象学科・学年	美容科 1年次										
授業概要	日常生活、そして美容業界において「色」は切り離せないものです。この講座では、色彩検定3級合格を目指すと同時に、色に関する知識と技能を、理論的、系統的に学んでいきます。 色彩学の基本的な知識と、色を扱うテクニックを身につけ、美容業界のスペシャリストとしてカラーコーディネートを実践できることを目標としています。										
授業形式	講義： ○			演習： △		実習： -		実技： -		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○					光の性質と目のしくみについて学び、なぜ色が見えるのかを説明することができる。					
	○					色の三属性について理解し、色を系統立てて考え、説明することができる。					
		○				混色について理解し、目的の色を作ることができる。					
		○				配色技法や色のイメージについて学び、色の組み合わせを決定し提案することができる。					
	○					色彩検定3級に合格することができる。					
テキスト・教材 参考図書	AFT色彩検定3級公式テキスト、カラーカード、配布資料 日本の色世界の色、日本の伝統色、色で巡る日本と世界、カラーイメージスケール										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	カラーコーディネートについて(導入)、色相環と補色残像					テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
	2	言葉による色表示、PCCストーン図作成					テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
	3	PCCSの理解					テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 小テスト実施のため前回授業内容の復習をしておくこと				
	4	色の分類と三属性、色の働き					テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 小テスト実施のため前回授業内容の復習をしておくこと				
	5	光と色－光とは、光の性質と色					テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 小テスト実施のため前回授業内容の復習をしておくこと				
	6	光と色－目の仕組み、網膜における光の処理					テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 小テスト実施のため前回授業内容の復習をしておくこと				
	7	色彩調和－色相配色、トーン配色					テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 小テスト実施のため前回授業内容の復習をしておくこと				
	8	色彩調和－配色の基本的な技法					テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 小テスト実施のため前回授業内容の復習をしておくこと				
	9	混色－減法混色、加法混色					テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 小テスト実施のため前回授業内容の復習をしておくこと				
	10	色彩心理－色の心理的効果、視覚効果、知覚的効果					テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 小テスト実施のため前回授業内容の復習をしておくこと				
	11	色彩効果－色彩と構成					テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
	12	色彩と生活					テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
	13	ファッションと色彩					テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 小テスト実施のため前回授業内容の復習をしておくこと				
	14	インテリアと色彩					テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 小テスト実施のため前回授業内容の復習をしておくこと				
	15	総まとめテスト					検定範囲全体の復習をしておくこと				
評価方法	(1)講座最終日に総まとめテストを実施する (2)確認の小テスト (3)カラーカード等を用いた課題の提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
	総まとめテスト	◎					80%				
	小テスト(理解度確認テスト)	◎					10%				
	課題	△	○				5%				
	受講姿勢・出席				○		5%				
履修上の注意	出席回数が授業回数の2／3に満たない場合は、単位を与えない										

科目名	社会教養(就職実務Ⅰ)										
科目名(英)	Finding employment Practical business1										
単位数	1単位			時間数		16時間		担当者		江藤・山口・糸山・武田	
実施年度	2019年度			実施時期		後期		実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	美容科・1年生										
授業概要	就職活動を控え就職を意識すると共に、内定獲得する為の社会的スキルを身に着ける。										
授業形式	講義：○			演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
		○				学校求人を中心に企業研究をする事ができる。					
		○				面接試験の傾向と対策を理解し、しっかりとした言動で模擬面接を受けることができる。					
		○				作文、履歴書の記入方法を理解して、履歴書制作ができる。					
テキスト・教材 参考図書	ノート、配布物										
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示			
	1	学校求人を中心にリサーチ。就職を意識させる。						特になし。			
	2	企業の選び方のチェックポイントについて						事前に求人票を見て、企業研究を事前に行う。			
	3	就職支援の機能を使いこなす						特になし。			
	4	就職試験の内容を確認する。						特になし。			
	5	面接試験、実技試験、一般常識、適正試験など						グループ討論・発表に対する準備を事前に行う。			
	6	面接試験の傾向と対策。面接練習						特になし。			
	7	作文、論文の記入方法。						作文用紙を事前に準備する事。			
	8	履歴書の記入方法を理解する。						履歴書用紙の事前に準備する事。			
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
評価方法	(1)授業の中で発表を実施する。(2)宿題として感想文・レポートを提出を課す。 以上を下記の観点・割合で単位認定をする。 成績評価基準は、R判定(60点以上)・D(59点以下)とする。										
						言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート								○		20%
	発表・作品						○				80%
履修上の注意	出席が5回に満たない場合は、単位認定を行わない。										

科目名	社会教養(総合学習Ⅰ)									
科目名(英)	Synthesis learning1									
単位数	1単位			時間数	16時間		担当者	江藤・山口・糸山・武田		
実施年度	2019年度			実施時期	前期		実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	美容科・1年生									
授業概要	美容業界に対する実践的な教養の力を身につける事ができるように、様々な機会を企画して経験をつみ美容業界で活躍し続ける人材育成を目指す。									
授業形式	講義：○			演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
		○				業界の先輩の話を聞き、将来に対するキャリアプランを立てる事ができる。				
	○					美容業界の市場を理解して、美容業界についての自分の考えを説明する事ができる。				
テキスト・教材 参考図書	ノート・筆記用具									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	オリエンテーション					特になし			
	2	プログレッシブセミナー 業界の先輩の技術を知る					特になし			
	3	プログレッシブセミナー クリエイティブな作品づくりに必要な事					特になし			
	4	プログレッシブセミナー コンテストでの作品に必要な要素とは					特になし			
	5	IMSセミナー 就職活動について					特になし			
	6	IMSセミナー 美容業界の体験談を業界の先輩方から聞く					特になし			
	7	プログレッシブセミナー 実務実習前の準備としての心構え					特になし			
	8	IMSセミナー 美容業界の未来を考える					特になし			
	9									
	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
評価方法	(1)授業の中で発表を実施する。(2)宿題として感想文・レポートを提出を課す場合がある。 以上を下記の観点・割合で単位認定をする。 成績評価基準は、R判定(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	発表・作品	○	○				70%			
	感想文・レポート	○					30%			
履修上の注意	出席が5回に満たない場合は、単位認定を行わない。									

科目名	グローバルシティズンベーシックⅠ								
科目名(英)	GLOBAL CITIZEN basic 1								
単位数	1単位		時間数	16時間		担当者	江藤・糸山・山口・武田		
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	美容科・1年生								
授業概要	組織の中で生きて生きていくうえで重要なマナーと協力(協働)について学び、感謝心と思いやりを身に付けて社会に貢献できる人材を目指す。								
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	○	○				グローバルシティズンという意味を理解し、説明する事ができる。			
				○		「協働」の意味を知り、行動ができるようになる。			
				○		マナーの本質を知り、よりよい人間関係の構築が出来るようになる。			
				○		「感謝と思いやり」を表現できるようになる。			
テキスト・教材 参考図書	GCB1テキストブック								
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示		
	1	第1講座:グローバルシティズンを目指す / グローバルシティズンとは何かを考える。					グループ討論・発表に対する準備。		
	2	第2講座:「協働」の態度を持った学生生活に向けて～マナーの重要性 /グループ 討論・発表					グループ討論・発表に対する準備。		
	3	第3講座:よりよい人間関係の構築に/社会生活におけるマナーの重要先人に 学ぶ							
	4	第3講座:よりよい人間関係の構築に/江戸しぐさ・先人から学ぶマナー					感想文シートの作成指示		
	5	第4講座:マナーの本質Ⅰ /相手に敬意を表する							
	6	第5講座:マナーの本質Ⅱ /相手に敬意を表する(思いを伝える力、真摯な姿勢、 素直な態度、誠実な傾聴) 自分を理解する(TA交流分析)					感想文シートの作成指示		
	7	第6講座:グローバルシティズンとしての日常/7つの習慣より(Win-Winを考える、 理解し理解される、相乗効果を発揮する)					感想文シートの作成指示		
	8	第7・第8講座:「感謝と思いやり」を振り返る/[感謝と思いやりを振り返る]							
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
評価方法	(1)授業の中で発表を実施する。(2)宿題として感想文・レポートの提出を課す。 以上を下記の観点・割合で単位認定をする。 成績評価基準は、R判定(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	宿題・レポート				○		10%		
	発表・作品	○	○		○		90%		
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位認定を与えない。								